

## 第 58 回 小松市都市計画審議会 < 議 事 要 旨 >

開催日時	平成 22 年 3 月 24 日(水) 午後 1:30 ~ 2:30
開催場所	小松市役所 低層棟 3 階 議会説明者控室
出席委員	伊藤貞之委員、高見健次郎委員、西沢耕一委員、馬場先恵子委員、杉林憲治委員、飛弾共栄委員、東幸一委員、清水春彦委員、東由美子委員、荒井美代子委員、矢田倫子委員 (出席委員/11 名)
欠席委員	森俊偉委員 (欠席委員/1 名)

1. 議 案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 1 号 小松能美都市計画道路の変更について (石川県決定)</li> <li>・ 議案第 2 号 小松能美都市計画道路の変更について (小松市決定)</li> </ul>
2. 審議内容	<p>○ 議案第 1 号 小松能美都市計画道路の変更 (石川県決定) について 事務局より説明 (議案の概要)</p> <p>小松能美都市計画道路について、近年の少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、公共投資の縮減等、社会経済情勢の変化と共に、まちづくりの方向性や道路の必要性に変化が生じ、今後の道路整備を効果的かつ効率的に進めるため、長期未着手となっている路線について交通処理や防災面、事業実現性、地域コミュニティーの保全など総合的に検証を行い、路線の廃止や幅員の見直し等を含め、15 路線 L=約 21.6 k m (うち県決定 6 路線 L=約 12.7 k m) について見直すもの。</p>
委 員	(意見、質問及び事務局回答)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の見直しに際して、地元説明会を開催されているが、地域の方々から、具体的な意見があったら教えて頂きたい。</li> <li>・ 地元説明会の中では、今なぜ見直しをするのか、都市計画道路を廃止した場合に今後の道路整備はどうなるのか、歩行空間等安全面についてどうなるのか、防災面から必要な道路については今後とも継続して頂きたい、などの意見があった。</li> </ul>
会 長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根上小松線の道路区域の変更について、削除部分はどうか。</li> <li>・ 現在の道路敷地の部分について、右岸側に公園が整備されるということで、広場としては不要であるということ、もう一つは、橋が上がることから、併せて宅地を上げる必要があり、その中で各個人の敷地の整序の際に活用されることとなる。</li> </ul>
会 長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的にどのようなようになるのか。</li> <li>・ 一部は私有地として利用され、一部は歩道として利用される。</li> </ul>

<p>会 長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路幅員は狭くなるのか。</li> <li>・今回の削除部分は、当初ポケットパークとして利用する予定であった部分であり、右岸側に防災機能を備えた公園が出来ることになったという事と、もう一つは、現在の東側と同じように、橋の高さに併せて盛土をし、敷地を整序する際に、現道の市道の拡幅や、後ろの地面との高低差の関係から、住民が一部土地を提供する必要があることから、必要な道路幅員は確保した上で、それらに活用するということである。</li> </ul>
<p>委 員 事務局 会 長 委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に言うと交換するということか。</li> <li>・そうです。</li> <li>・いつ頃、完成予定か。</li> <li>・一旦、道路西側の方に移転して頂き、地盤改良と、沿道利用が出来るように橋の高さに併せて盛土をする。これが完成するのが24年11月を予定している。現在、梯川で橋脚の上部工の工事を施工しているが、この地図の赤線で工事を行っており、完成後は旧橋を取り壊すことになる。そうすると、今回の削除部分を公共用地のまま残すと沿道利用が出来なくなることと、新たに後ろに道路を追加したことにより民地が少なくなるということがあり、右岸に大きな公園が出来ることから、沿道利用と道路に取られた分を、この部分で確保することとした。計画線で一部膨れているように見える部分はバスレーンで、今回の変更によって道路幅員が狭くなるわけではない。</li> </ul>
<p>委 員 委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小松天満宮を含めて、この一体が全て完成するのはいつ頃か。</li> <li>・橋の部分については、23年度の供用に向けて努力している。小松天満宮の部分については、国の直轄事業でやっている。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の直轄事業については、小松天満宮の輪中堤の完成に10年位かかる。上流の鍋谷川の合流点までの河川改修をあせると20年位かかる。</li> </ul>
<p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は都市計画道路の廃止についてであるが、街並みや住環境の変化により、新たに都市計画道路が必要になった場合も今回のように何年かに1回というような形でやるのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画の中で、新たな都市計画道路が必要になった場合にはその都度、都市計画決定していく。</li> </ul>
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他にご意見がないようなので、採決を行う。 議案第1号について、賛成の方は拍手をお願いしたい。 (拍手)</li> </ul>
<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、全員拍手で、原案どおり承認することとする。</li> </ul> <p>○ 議案第1号 小松能美都市計画道路の変更（小松市決定）について 事務局より説明 (議案の概要) 小松能美都市計画道路について、近年の少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、公共投資の縮減等、社会経済情勢の変化と共に、まちづくりの方向性や道路の必要性に変化が生じ、今後の道路整備</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>会長</p>	<p>を効果的かつ効率的に進めるため、長期未着手となっている路線について交通処理や防災面、事業実現性、地域コミュニティーの保全など総合的に検証を行い、路線の廃止や幅員の見直し等を含め、15路線L=約21.6km（うち市決定9路線L=約8.9km）について見直すもの。</p> <p>（意見、質問及び事務局回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今江三谷線について、JR横断は立体交差となっているが、JR建築限界とは何か。また、国道305号までの完成にあと何年位かかるのか。</li> <li>・建築限界とは、JRを立体交差で横断する際に、地盤面から橋桁まで7m以上の空間を確保することである。</li> </ul> <p>道路の整備状況については、小松基地から、（主）小松山中線までが完成しており、（主）小松山中線から（都）上小松符津線までについては、現道が非常に狭く、今江町地内における防災面の観点からも早急な整備が必要であることから、まず第1期工事として平成16年から23年度の予定で事業を行っている。現在、用地買収も2件を残すのみとなっている。現在の事業区間から先の国道305号までの区間については、JRの立体交差が必要なことから、財源の問題もあり、現状2車線で、ある程度幅員の確保が出来ているため、今後の交通の状況を見極めた中で検討していきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道305号から、道の駅ができる国道8号までの拡幅予定はあるか。</li> <li>・現時点で、拡幅の予定はない。</li> <li>・今回の廃止路線の中で、長いもので決定からどの位の期間が経っているのか。</li> <li>・昭和50年に計画されたものがほとんどである。</li> <li>・他にご意見がないようなので、採決を行う。</li> </ul> <p>議案第2号について、賛成の方は拍手をお願いしたい。</p> <p>（拍手）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、全員拍手で、原案どおり承認することとする。</li> </ul>
--	---